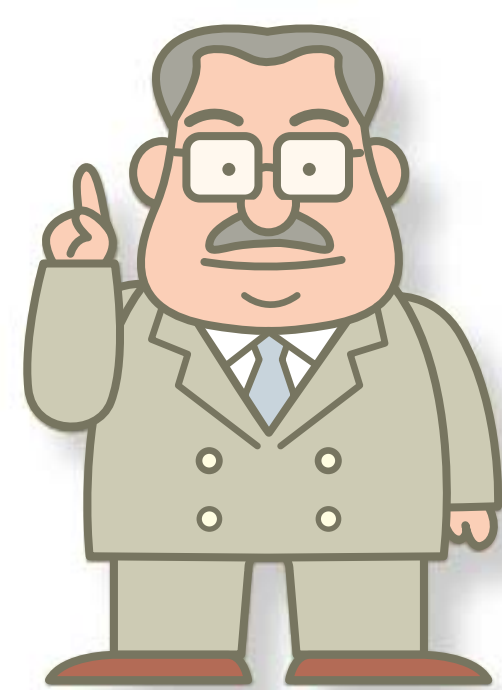


Against Cybercrime 2009

企業に求められる情報セキュリティ

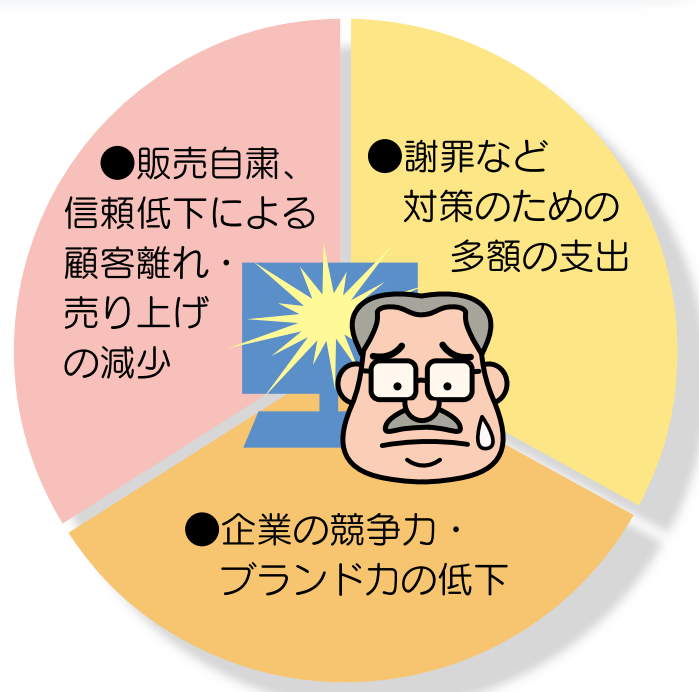


サイバー犯罪が企業に与えるダメージ



企業におけるインターネット利用と社内LANの普及にともない、サイバー犯罪の脅威はますます増大しています。

ネットワークとサーバの管理の緩さは、サイバー犯罪の被害を受ける原因になることがあります。ひとたび、企業の管理不備によって顧客に被害が及べば、企業の社会的信用は失墜し、大きな損害を被ることになります。



ファイル共有ソフトによる情報流出

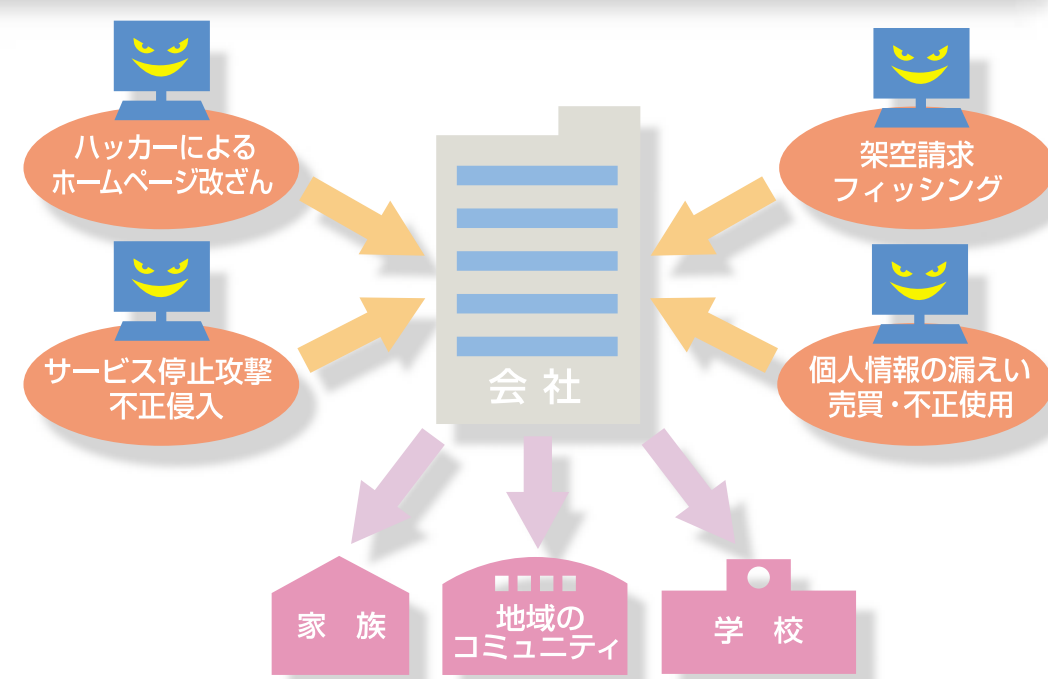


Winny、Shareなどのファイル共有ソフトは、パソコンなどに保存したファイルを多数のユーザー間で共有することを目的としたソフトです。設定を適切に行わなかったり、ウイルスに感染したりすると、ハードディスク内のすべてのファイルを不特定多数の者に公開してしまう恐れがあり、企業の保有する個人情報や機密情報が流出する問題にも発展しかねません。

企業のシステムが犯罪に利用される危険性も



企業のネットワークやサーバがサイバー犯罪の被害にあった場合、そのデータベースや通信機能が悪用され、結果的に企業もサイバー犯罪に加担してしまう恐れがあります。



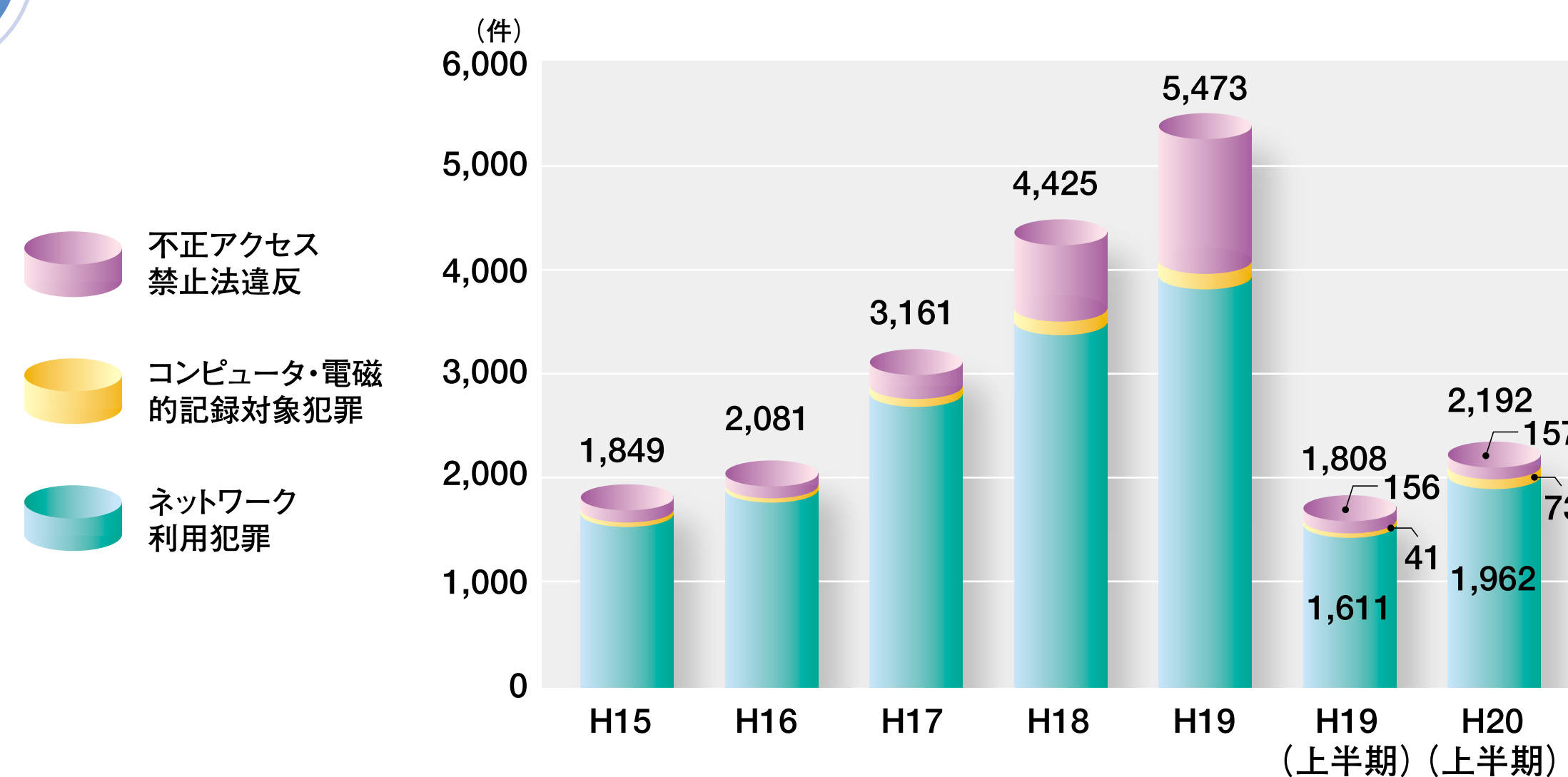
情報セキュリティ対策は企業の責務



昨今、企業において個人情報等の重要な情報の漏えい事件が発生しており、情報セキュリティ対策については、顧客や取引先のみならず一般社会の目もきびしくなっています。サイバー犯罪に遭わないよう、また、サイバー犯罪に加担することのないよう、情報セキュリティ対策を実施・継続することが必要です。

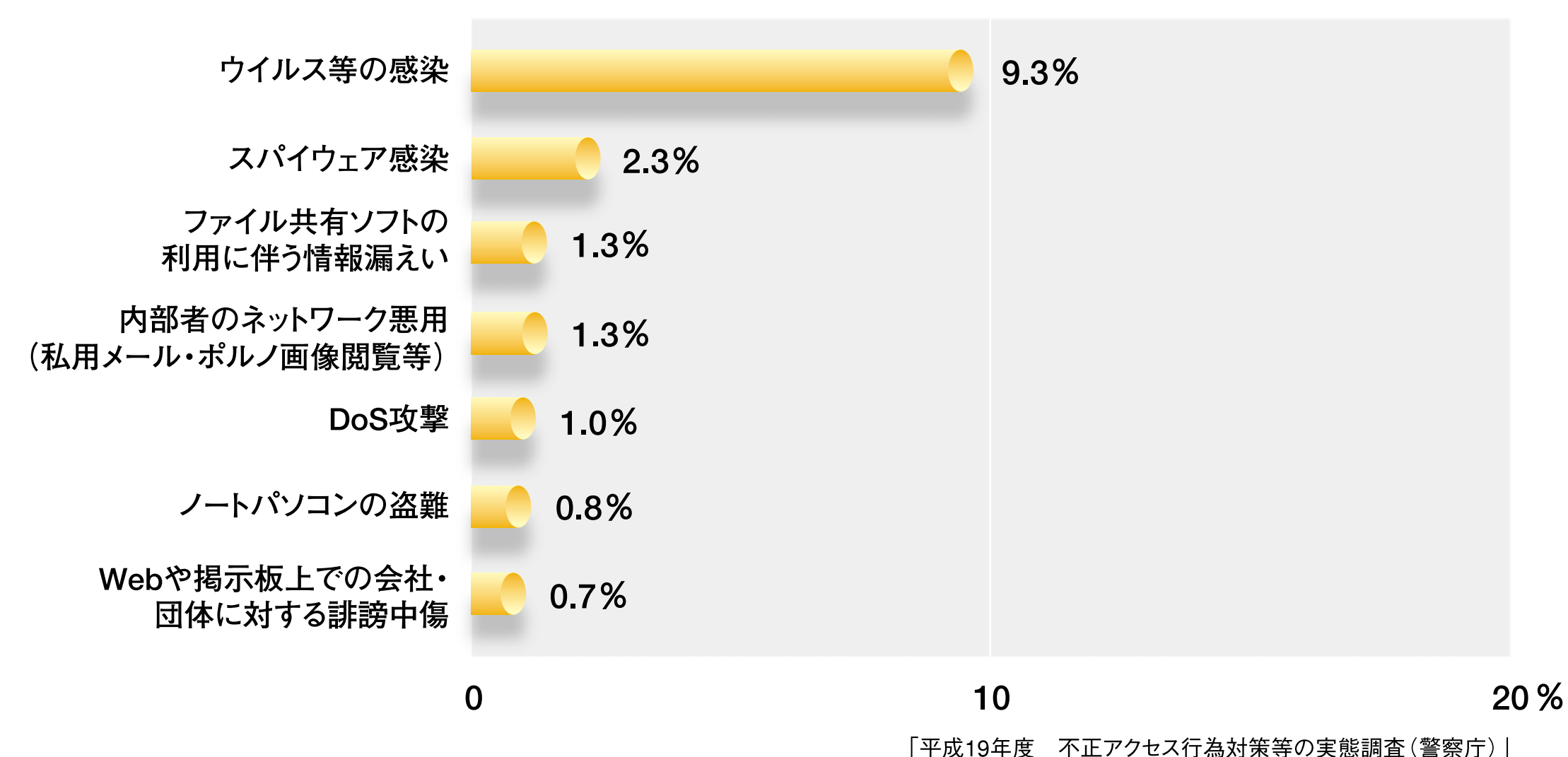
資料 1

サイバー犯罪 検挙件数の推移



資料 2

企業における情報セキュリティに関する被害状況 (平成19年)



資料 3

企業におけるセキュリティポリシーの策定状況 (平成19年)

- 策定してある
- 現在策定を進めている
- 策定はしていないが、今後策定する予定
- 策定しておらず、今後も策定の予定はない
- 必要ない
- 無回答

